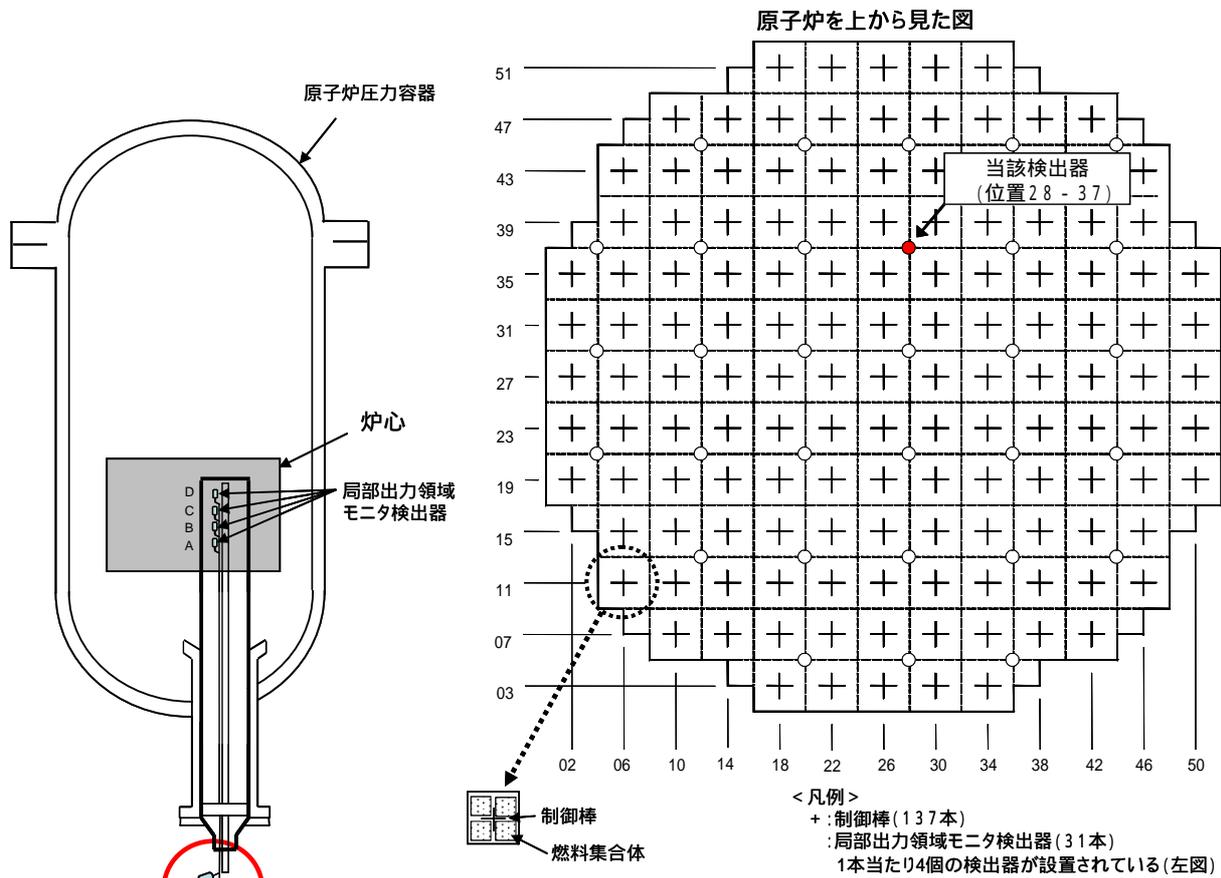


女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 2 (改)

(平成18年12月分)

号 機	2号機	定期検査	第8回定期検査	
件 名	局部出力領域モニタ検出器の値と校正用検出器の値との差の発生について			
月 日	平成18年12月20日(水)	発 生	発 見	確 認
場 所	原子炉建屋	設 備	局部出力領域 モニタ検出器	設備区分 安全上重要な 系統
設備概要	<p>局部出力領域モニタ検出器とは、原子炉内で核分裂によって発生する中性子の量を計測する検出器です。原子炉内に31本設置されており、それぞれ4個の検出器が取り付けられています(合計124個)。</p>			
所 見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当社運転員が、最大線出力密度 の値が一時的に上昇していることを発見しました(12月19日)。 ・ 原子炉内の中性子の量を計測している局部出力領域モニタ検出器の校正作業を行ったところ、124個ある検出器のうち2個について、校正用検出器の値と差が生じていることを確認しました(12月20日)。 ・ 念のため、当該検出器2個の信号を切り離しました(12月21日)。 ・ 原因について調査したところ、当該2個の局部出力領域モニタ検出器のケーブルを逆に接続していたことを確認したことから、正しい接続に直しました。また、局部出力領域モニタ検出器を含む類似のケーブルについては、正しく接続されていることを確認しました(平成19年1月9日)。 ・ 本事象による運転上の影響を調査したところ、安全性に問題はなかったことを確認しております(平成19年1月11日)。 <p>なお、本事象は平成19年1月5日、1月18日にお知らせ済みです。</p> <p>最大線出力密度とは、原子炉内の燃料棒単位長さあたりの出力のうち最大のものをいう。</p>			



制御盤へ

局部出力領域モニタ検出器概念図

